

# 2017年5月期（第31期） 第2四半期 決算説明会

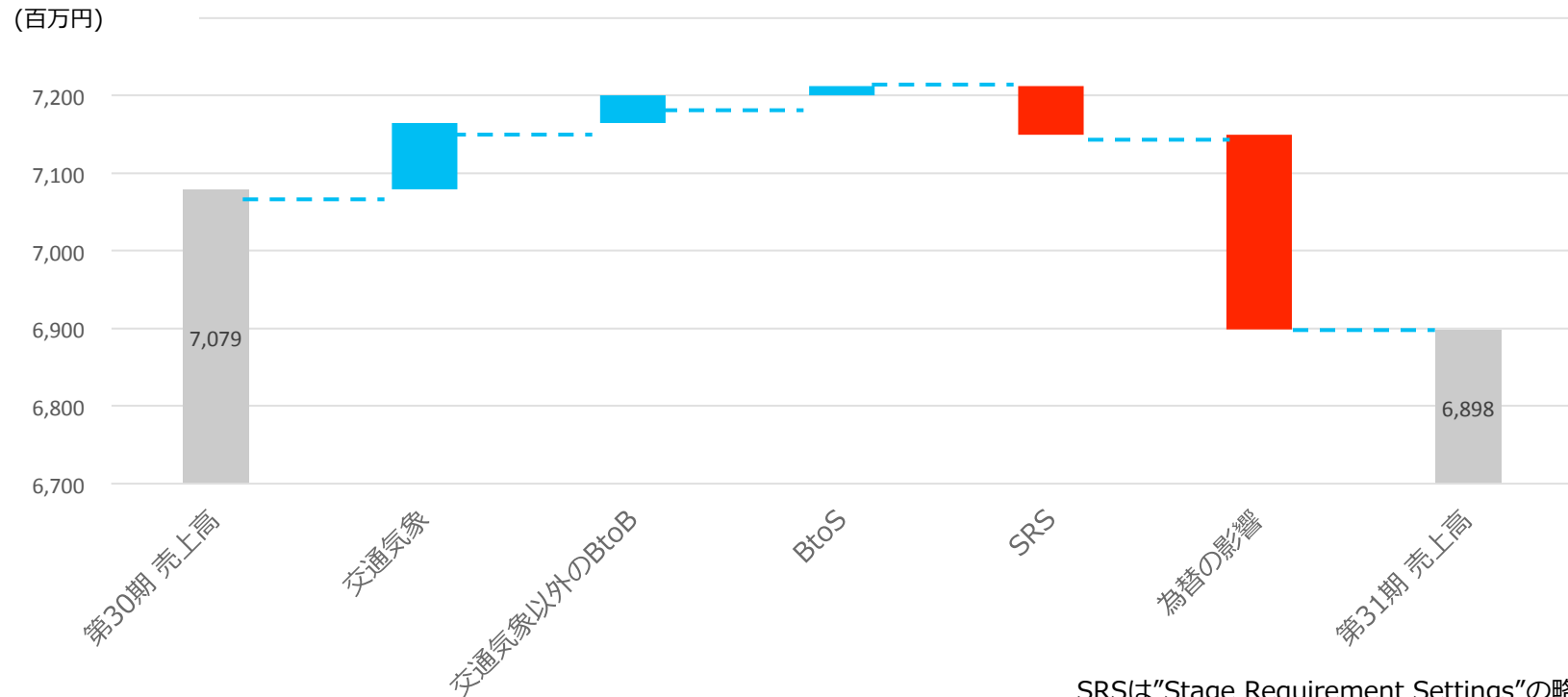
2016年12月27日  
株式会社ウェザーニューズ



（単位：百万円）	2016.5期 （第30期）	2017.5期 （第31期）	前期比伸び率
売上高	7,079	6,898	△2.5
（BtoB売上高）	4,152	4,045	△2.6
（BtoS売上高）	2,926	2,853	△2.5
営業利益	1,541	1,372	△11.0
経常利益	1,486	1,385	△6.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,012	1,018	0.6
EPS（円）	92.96	93.48	0.6

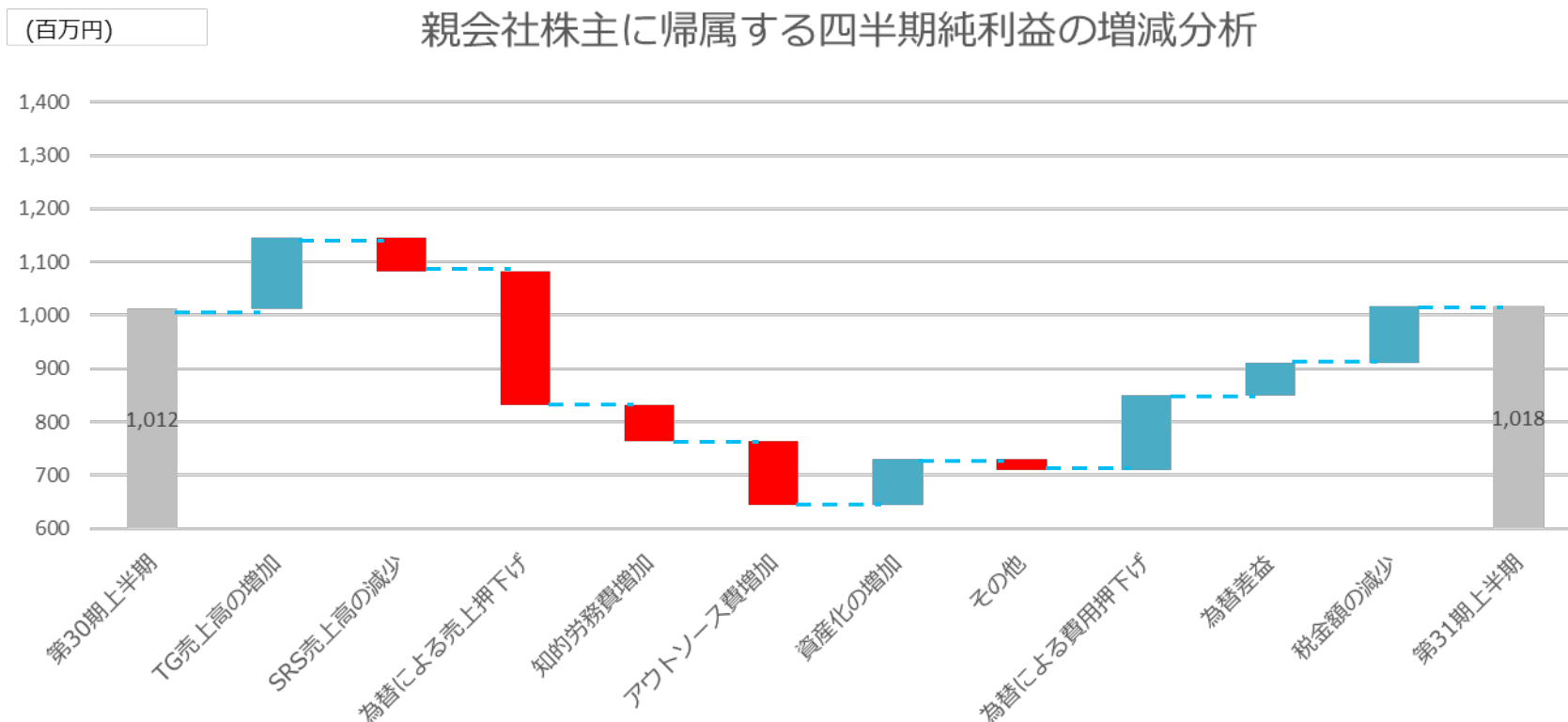
- 日本の陸上向け市場（道路・鉄道）が成長。航海気象は為替影響により BtoB売上高 2.6%減収
- いんニューシアモデルの利用者増、フィーチャー会員減、放送局向け初期型売上減少により BtoS売上高 2.5%減収
- 人材投資・開発投資を促進。為替差益・税額控除の影響により純利益は増益

## 売上高の増減分析



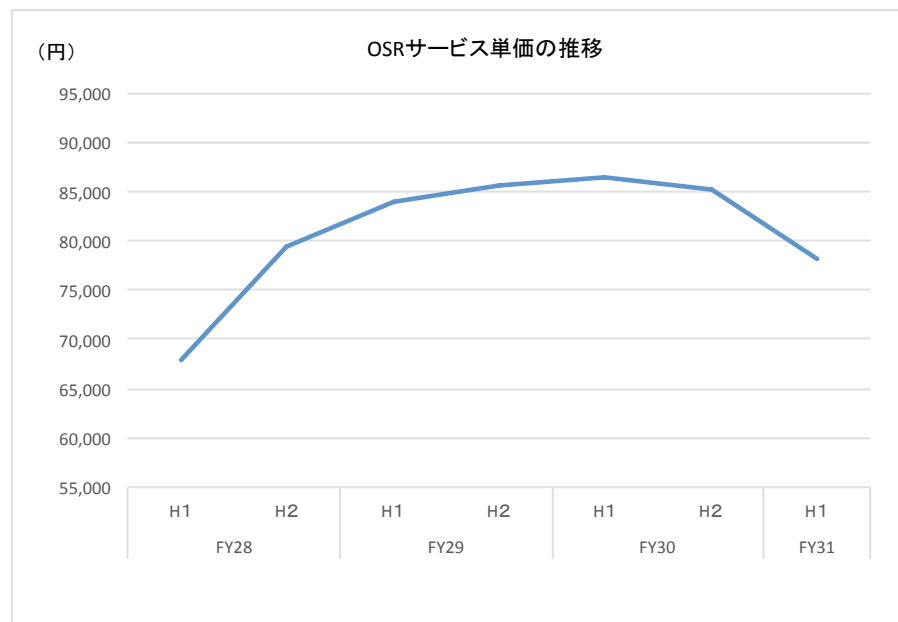
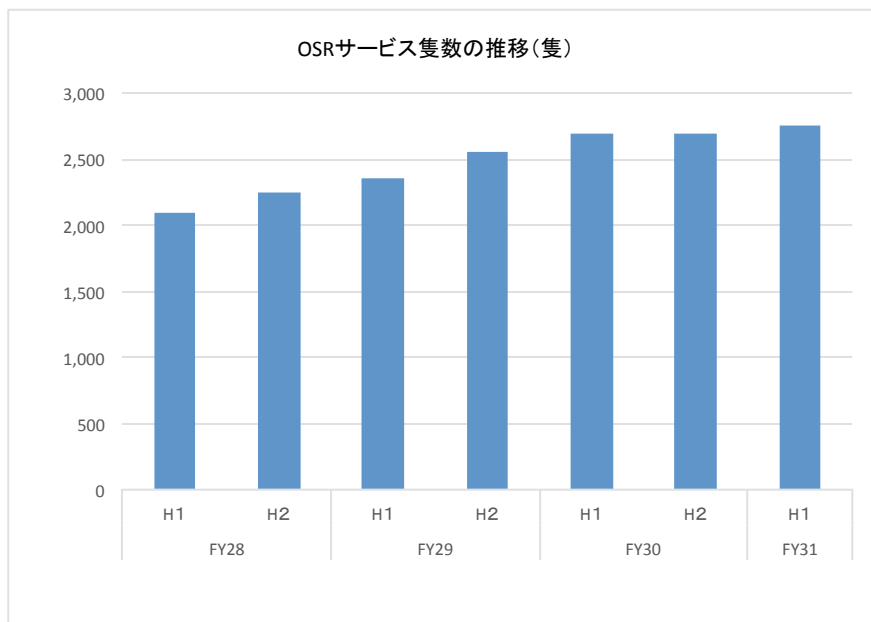
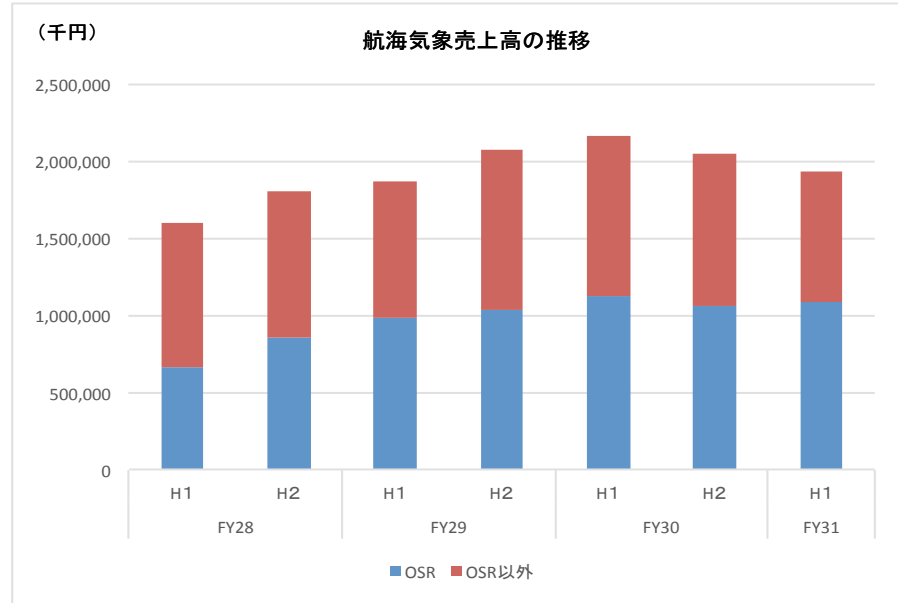
SRSは“Stage Requirement Settings”の略。  
 将来のトールゲート型ビジネスにつながる  
 一時的な調査、システム納入など

- <BtoB> 日本の陸上向け市場（道路気象・鉄道気象）が成長  
 航海気象は海運業界全体の荷動き低下・円高の為替影響で伸び悩み
- <BtoS> レベニューシェアモデルが引き続き成長・フィーチャー会員減  
 放送局向けシステム更新サイクルの影響によるSRS減収

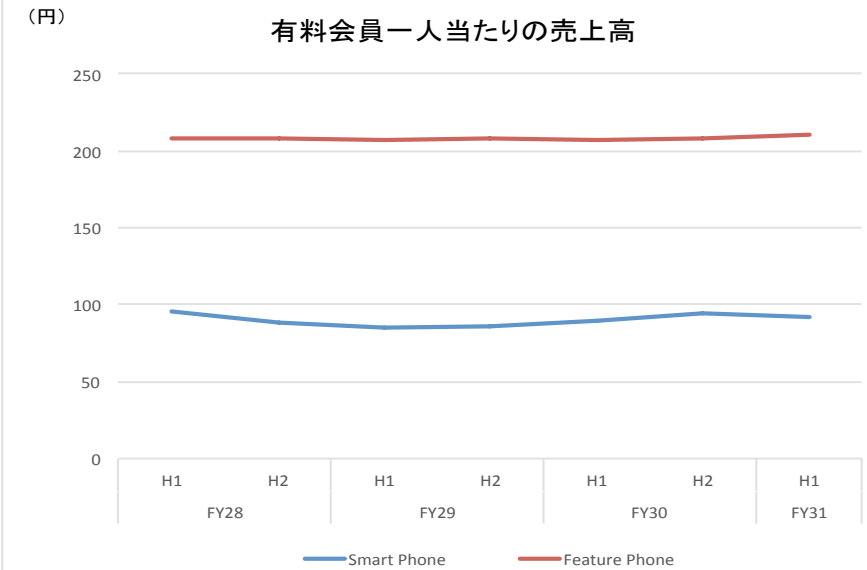
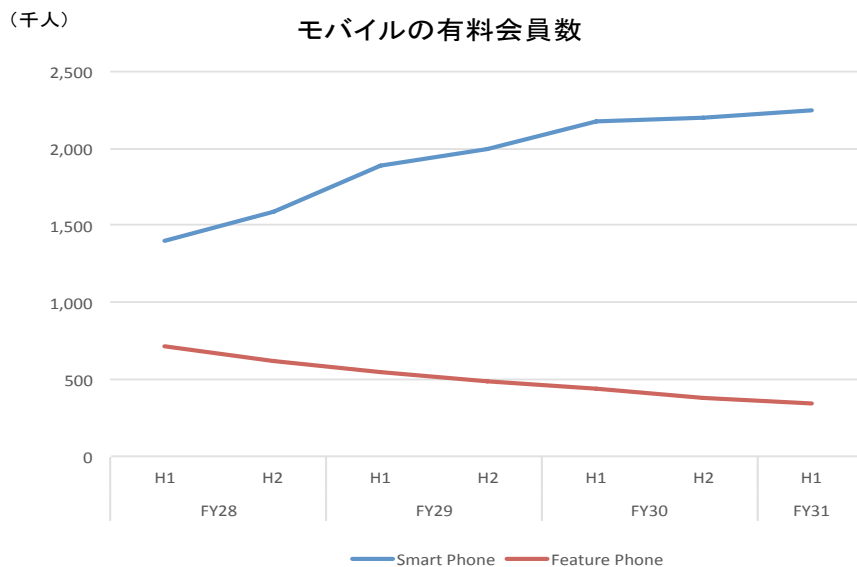
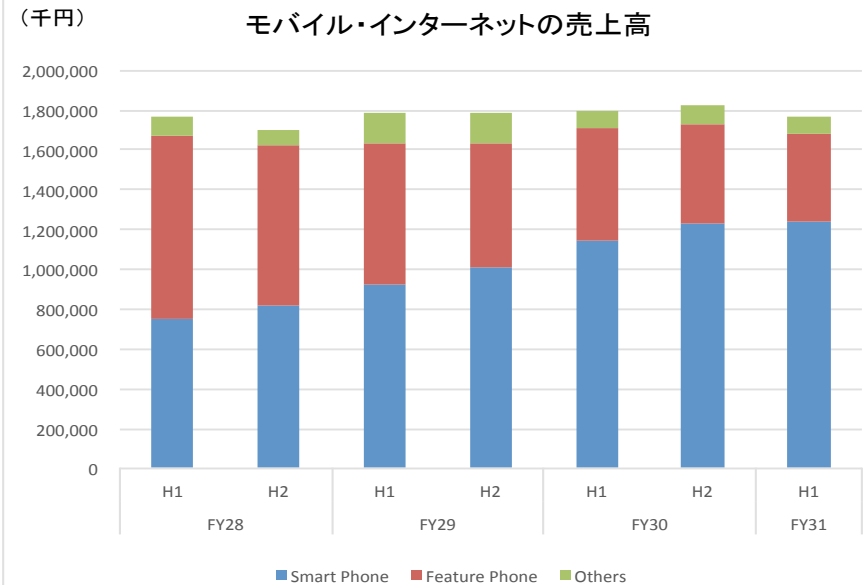


- アジア展開に先立つ現地人材・生産性向上に向けたIT開発スタッフの積極採用による知的労務費の増加
- 次世代の基幹インフラ・サービス提供ツールの開発によるアウトソース費の増加
- 上半期全体での為替差益・税額控除により、親会社株主に帰属する当期純利益は0.6%の増益

- 海運業界全体の荷動き減および為替影響により減収
- 上半期末のOSRサービス隻数は2,750隻（前期末は2,700隻）
- 単価はOSR浸透率上昇に向けたOSR Liteの導入・為替影響により低下傾向



- レビューシェアモデルの利用者増
- フィチャー会員は継続的に減少
- 上半期末の有料会員数は258万人で横ばい（前期末258万人）



(単位：百万円)	2016.5期 (第30期)	2017.5期 (第31期)
設備投資	415	303
減価償却	321	278
研究開発	196	166
従業員数 (連結)	739 人	761 人

- 設備投資は前期のオフィスリニューアル費用減に伴い減少
- 研究開発はWITHレーダーの償却期間終了に伴い減少
- グローバル人材・IT人材への投資に伴い、従業員数が増加

- 2017.5期（第31期）配当

年間配当 100円（予定）

中間配当 50円

期末配当 50円（予定）

- 2017.5期（第31期）配当の状況

「高貢献、高収益、高分配」の考えに基づき、経営成績と資本効率、配当性向・配当利回りなどを勘案し、1株あたり年間配当金の基準を100円としております



(単位：百万円)	2016.5期 (第30期)		2017.5期 (第31期)		通期伸び率
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	
売上高	7,079	14,511	6,898	15,000	3.4%
(BtoB売上高)	4,152	8,558	4,045	8,800	2.8%
(BtoS売上高)	2,926	5,953	2,853	6,200	4.2%
営業利益	1,541	3,387	1,372	3,400	0.4%
経常利益	1,486	3,208	1,385	3,300	2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,012	2,195	1,018	2,300	4.8%
EPS (円)	92.96	201.57	93.48	211.16	4.8%

青：実績

- 交通気象の各市場の成長により、売上高は8期連続の増収を予想
- 次なる成長に向けた積極投資を見込み、営業利益は前年並みを予想

## <買収目的>

- ・エネルギー市場展開に向けたサービスコンテンツ・ノウハウの獲得
- ・ヨーロッパ市場展開に向けた顧客基盤の獲得

### ◆会社概要

- ・フランス（パリ）の総合気象情報サービス会社（2012年設立）
- ・売上 - 約300百万円 純利益 - 約30百万円 （2015年度実績）
- ・役員4名 社員17名
- ・主要市場：電力市場・流通小売市場・農業市場

### ◆サービス概要

- |       |   |                       |
|-------|---|-----------------------|
| エネルギー | : | 自然エネルギー発電量予測・電力ガス需要予測 |
| 流通小売  | : | 小売販売予測・実績気象影響調査       |
| 農業    | : | 農業従事者向け実況・予測提供        |

### ◆強み

- ・自然エネルギー発電量予測の統計モデル
- ・電気・ガス需要予測の統計モデル（日本での展開可能）

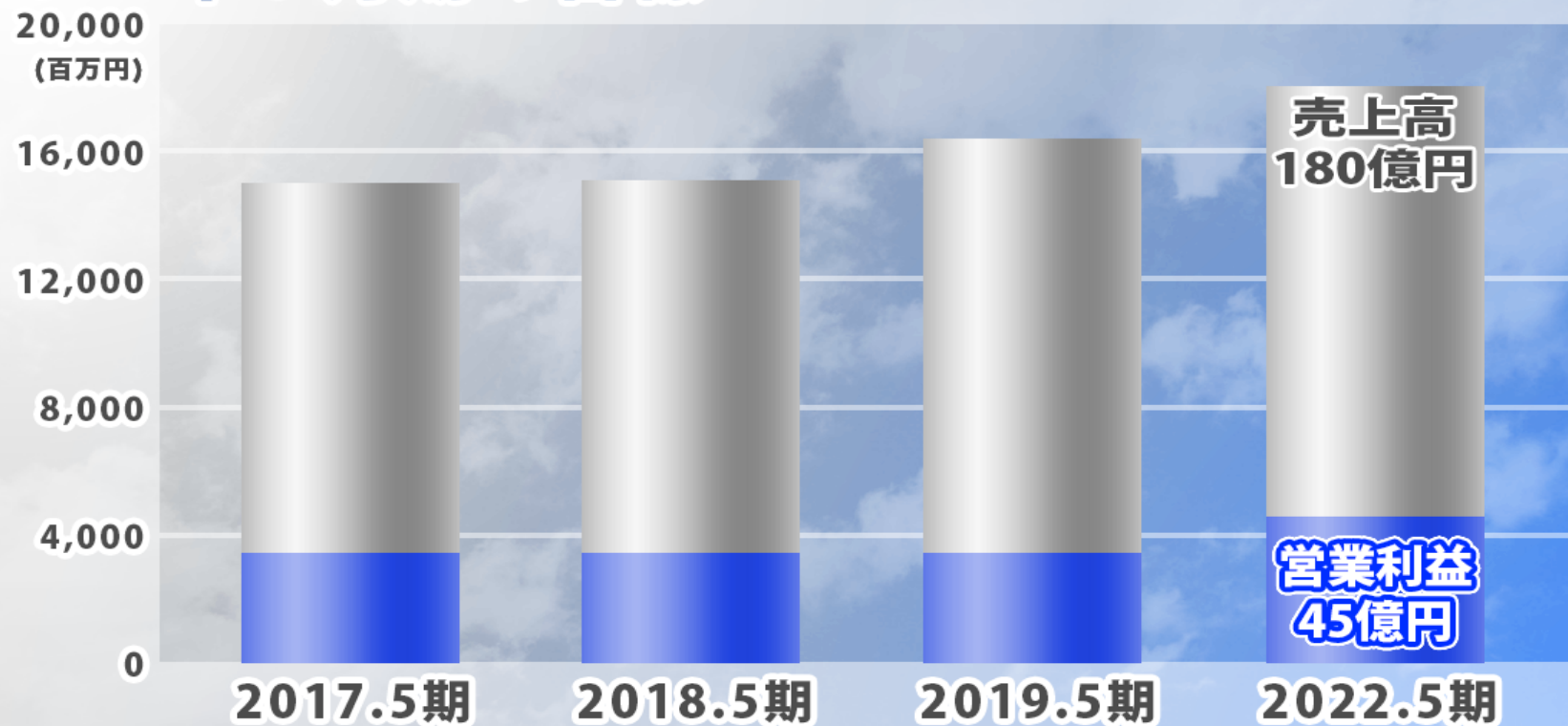
(単位：百万円)	2016.5期 (第30期)	2017.5期 (第31期)	2018.5期 (第32期)	2019.5期 (第33期)
売上高	14,511	15,000	15,700	16,340
(BtoB売上高)	8,558	8,800	9,420	9,980
(BtoS売上高)	5,953	6,200	6,280	6,360
営業利益	3,387	3,400	3,400	3,400
経常利益	3,208	3,300	3,300	3,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,195	2,300	2,300	2,300

青：実績

黄：当期

- 現状のビジネス進捗・Metnextの連結を見込んでUpdate（数字変更なし）
- 売上増加と共に、のれん償却の発生により、初期の営業利益への影響は小さい

## 2022年5月期の目標



- 第4成長期 最終年の目標は、売上180億円・営業利益45億円